

1. 概要

第8回検討会は、新たに作成したコンテンツ（五ヶ瀬流域における想定最大規模の被害イメージ）の紹介とタイムライン二次案の確認の場とした。実際に映像を見ながら場面ごとの行動内容を参加者に考えさせる形式とした。3つのスクリーンを使って、刻々と変化する被害イメージ映像に合わせてタイムライン二次案の行動項目を表示させ、場面ごとで五ヶ瀬川ポータルサイトを活用をリアルタイムランで紹介した。

2. 実施状況

- 日時：
令和元年6月10日（月）13:30～15:00
- 場所：
延岡市消防本部2F 視聴覚室
- 出席者：
宮崎地方气象台、宮崎県庁河川課、延岡土木事務所、東臼杵農林振興局、延岡市、延岡警察署、延岡市消防本部、陸上自衛隊、九州電力株式会社、宮崎ガス株式会社、株式会社NTTフィールドテクノ、九州旅客鉄道株式会社、宮崎交通株式会社、旭化成株式会社、社会福祉法人延岡市社会福祉協議会、延岡市防災推進員、宮崎県立延岡病院、西臼杵支庁、五ヶ瀬町、高千穂町、延岡河川国道事務所
関係機関約60名参加

3. 議事内容

1. 開会／挨拶
2. これまでの経緯について
 - ・水防災意識社会再構築ビジョンにおける五ヶ瀬川タイムラインの位置づけ
 - ・五ヶ瀬川タイムライン検討会の経緯について
3. 議事
 - ・五ヶ瀬川タイムライン二次案について
 - ・五ヶ瀬川流域における被害イメージについて
 - ・今後の予定について
4. 質疑応答
5. 総括
6. 閉会



4. 主な意見・コメント等

①あいさつ 副所長

本検討会では、タイムライン二次案と新たに作成したコンテンツを紹介し、関係機関の防災力向上と今後のより良いタイムラインの構築に向けてたフォローアップになればと考えている。本検討会を通じて各機関が顔の見える関係を構築することで連携強化を図り、確実に事前の防災行動が遂行されることで市民の安全が確保されること、またその行動が今後も引き継がれていくことが重要であると感じている。

②総括 村上先生（座長）

平成17年台風14号の災害から15年がたつが、幸いその間に当時の規模を超える水害は起きていない。今回、想定最大規模の降雨に対するタイムライン二次案を設定したことで「想定を超えた」という言い訳は通じない。タイムライン二次案が作成された次の段階としては、それぞれ各機関の行動内容をどう充実させていくのかが求められていく。（例えば、避難であれば障害者の避難や避難所内での要配慮者への行動内容など）

本検討会を通じてある程度のイメージが出来たと思うので、ぜひ次はその中身を少しずつ充実させていくということを皆様をお願いしたい。そうすることで、最初に掲げた地域ぐるみの被害の最小化、速やかな社会システムの回復といった目標に近づける。その目標に向けて総力をあげていただきたい。

被害状況に合わせて行動を考える参加型検討会の実施

五ヶ瀬川ポータルサイト

The screenshot displays a web portal with several information sections:

- 災害・被害に関する情報** (Disaster/Damage Information): Includes internal affairs, disaster response, national disaster management, and disaster prevention.
- 河川に関する情報** (River Information): Includes river management, flood prevention, and sand disaster information.
- 道路に関する情報** (Road Information): Includes road status, traffic information, and road construction.
- 報道機関の情報** (Media Information): Lists various news agencies and their contact information.
- 気象に関する情報** (Weather Information): Includes weather forecasts, alerts, and sea level information.
- 交通に関する情報** (Transportation Information): Includes JR and bus services.

Below the text sections are several maps and graphs showing the river's course and water levels.

タイムライン二次案

The screenshot shows a detailed timeline table with columns for date, time, and event description. The events are organized chronologically, providing a clear sequence of the disaster's progression.

五ヶ瀬川流域における被害イメージ

